

ちっちゃいものくらぶ



アナウサギ(さん)

みんながよくペットとして見かけるウサギさんは、カイウサギで、その原種はヨーロッパのアナウサギが改良されたものなんだった。世界でも有名な「ピーターラビット」もその仲間らしいよ。

住宅事情 土の中に長いトンネルを掘って集団で暮らす。

行動範囲 100m×300m くらい

寿命 世界長寿記録はオーストラリアで飼われてた「フロプシー」ちゃんて、18歳10か月。フロプシーって、ピーターの姉か妹も同じ名前だよ、確か。

英名 rabbit 因みにノウサギは hare

赤ちゃん 産まれたばかりの子は体毛はなくて眼は閉じてる。妊娠期間は28～33日。一度に5～6羽、最大12羽も産んじゃう。

ご飯 草、樹皮、根など

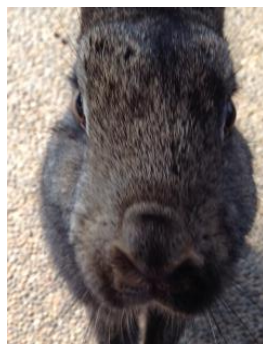


ウサギにまみれる旅

この前、広島県の瀬戸内海にある大久野島に行ってきた。ここは別名「うさぎ島」と呼ばれてるところ。この島にはホテルが1件あるだけで、そこで働く人は船で通勤している。要するに人間は住んでいないんだ。うさぎは700羽以上はいるらしい。

周囲は4.3kmの小さな島だけど、レンタサイクルで走っていると、すぐにウサの集団がこちらめがけて疾走してくるんだ。そこでご飯をあげながらもふもふして、さて先に行こうかとチャリに乗ると、また別のご家族がやってくる。そんなんでなかなか進まない。

旅にはウサギの栄養バランスを考えたラビットフードを1キロ以上買って持って行った。また島に渡るフェリー乗り場の最寄駅「忠海(ただのうみ)」そばのコンビニで、キャベツも買いこんだ。桟橋に着くと、早くも何やら動いているちっちゃいものがいた。そう、すぐにうさぎたちがお出迎えしてくれるんだ。もうその時点でテンションあがりまくり。しかし慣れてくると、娘曰く「ゾンビみたいに次から次へと出てくるね…」って感じになる。なわばり意識の強い子もいて、弱い子を押しつけて意地悪するから叱ってあげた。トレンディエンジェルの斎藤さん似の子もい



たよ。穴から出てきたての赤ちゃんはものすごく可愛かった。泊まった休暇村ではエコの取組がいろいろ考えられてて、バイキングの食事は食べられる量だけ取って、残さず食べたら宿舍の人に見てもらい、合格したらオリーブ基金に寄付が行くってシステムもあったよ。

この島には戦争の足跡が残されている。書ききれないから自分で調べてみてね。

